

合同会社種火

AIを“使う”人材になる
プロンプトエンジニアリング研修 (Eラーニング版)

標準学習時間：11時間

受講料：40万円(税抜)/1名

目次

01 研修概要

02 本研修の特徴

03 受講後の効果

04 導入メリット

05 ユースケース

06 カリキュラム概要

07 導入の流れ

08 Q&A

01

研修概要

- AIツール（ChatGPT等）を「使えるツール」に変えるには、正しい問い（プロンプト）を投げかける力が必要です。
- この研修は、非エンジニアでも安心して学べるよう設計されており、AIの基本理解から実践的な使い方までを体系的に習得できます。
- 現場で役立つプロンプトの設計力を身につけ、業務の生産性を高める力を養いましょう。
- 「AIツールでできること」が分かるだけでなく、「業務にどう活かすか」が見えてきます。

本研修の特徴

- AI初心者でも安心！丁寧な解説と実習でステップアップできます。
- 職種を問わず活用できる！企画・営業・事務・マネジメントなど幅広い業務に対応しています。
- 全16チャプターで構成されており、進捗状況もLMSで管理されるので、スキ間時間を活用して少しずつ進めることができます。
- AIツールの業務上での使い方など、実務に即した応用事例も解説と実践で学べます。
- 演習重視の構成だから学んで終わらず“使えるスキル”が身につきます。

03

受講後の効果

- 生成AIを「使える人材」として業務に活用できるようになる
- 目的に沿った「問い（プロンプト）」を構造的に設計できるようになる
- 実務に即したワークで、“使える”スキルが自然と身につく
- AIとの対話を通じて、発想力や業務の生産性が向上する

04

導入メリット

- DX推進・AI活用人材の育成につながる
 - 部門を問わず「AIを業務に活かす力」を底上げできます。
- 社員の業務効率・生産性の向上ができる
 - AIの活用で、業務全体がスピードアップして生産性が上がります。
- 生産性が上がることで残業代や人件費の抑制につながります
 - 生産性が上がれば業務時間を圧縮できて、必要な人員も減らせます。

1. 営業部門（製造業）

- 課題：製品ごとに異なる販促文や提案資料を、その都度作成していた
- 改善：プロンプトを工夫することで、商品の特徴・ターゲットに応じた文章を大量に高速生成して、良い部分を繋いで作成。
- 効果：資料作成時間が従来の半分以下に。顧客対応や新企画の立案にかけられる時間が大幅に増えた

2. 管理部門（中堅IT企業）（人材サービス業）

- 課題：就業規則改訂や社内説明資料の作成に膨大な時間を要していた
- 改善：法改正の要点や自社事例を入力し、AIが草案作成をサポート
- 効果：ドキュメント作成にかかる工数を70%以上削減

05

ユースケース

3. 広報・PR部門（アパレル企業）

課題: SNSやブログの投稿に時間がかかる。表現にもムラがある

改善: ターゲット層・商品特性等を軸にAIが複数の投稿案を自動生成

効果: 投稿作成のスピードが3倍に。ブランディングに一貫性が出たことで反応率も向上

4. カスタマーサポート（通信サービス業）

課題: FAQに対するマニュアル整備や文章作成が属人化していた

改善: 問合せログをもとにAIでFAQ草案や返信文例を自動作成

効果: 1件あたりの対応時間が30%以上削減。新人が即戦力として活躍できるようになる期間が圧倒的に短縮

05

ユースケース

5. 商品開発部門（食品メーカー）

課題: トレンド分析やユーザーの声の整理に時間がかかり、新商品の企画スピードが上がらない

改善: AIを活用してSNSやレビューサイトからのキーワード抽出・要約し、分析を実施

効果: 新企画が出てくる数が増え、期間も大幅に短縮

6. 医療法人（事務局）

課題: 診療報酬改定や行政通知の理解・要約・共有が、大きな負荷に

改善: 厚労省資料をAIに要約・読み替えさせるプロンプトを作成し、院内向け説明資料を自動化

効果: 院内の情報共有スピードが上がり、医療現場の理解もスムーズに

カリキュラム概要

- Chapter1 (15分): オープニング (カリキュラム、講師紹介、受講のルール説明)
- Chapter2 (5分): 生成AIの基礎的な知識
- Chapter3 (5分): AIの先 (これからAIはどう進化していくのか?)
- Chapter4 (5分): AIツールに使われない人材とは?
- Chapter5 (10分): 成果物の定義を合意する
- Chapter6 (25分): AIツールからより良い回答を引き出すスキル
- Chapter7 (15分): より良い回答を引き出す工夫: プロンプト
- Chapter8 (1時間): より良い回答を引き出す工夫: プロンプトのテクニック
- Chapter9 (1時間10分): より良い回答を引き出す工夫: アプローチ
- Chapter10 (10分): 判断と反復のスキル (明確)
- Chapter11 (10分): 判断と反復のスキル (あいまい)
- Chapter12 (1時間40分): 品質を上げるための手法
- Chapter13 (10分): プロンプトエンジニア実習① (準備: プロンプトの作法)
- Chapter14 (1時間30分): プロンプトエンジニア実習② (1~3問目)
- Chapter15 (1時間45分): プロンプトエンジニア実習③ (4~6問目)
- Chapter16 (2時間20分): プロンプトエンジニア実習④ (7~9問目と全体を通した振り返り)

07

導入の流れ

問い合わせ

申し込み

お支払い

研修受講

修了

08

Q & A

Q AIの機能を使うには専門知識が必要ですか？

A 1名から受講可能です。受講できる上限人数に制限はありません。

Q 受講料以外にかかる費用はありますか？

A 本研修では受講料以外にかかる費用はありません。

Q ChatGPTを使ったことがないけど大丈夫ですか？

A はい。大丈夫です。ただ、研修ではChatGPTのアカウント開設や基本的な使い方については教えていませんので、アカウント開設をして一度使ってみてください。使い方は非常に簡単です。GoogleやYahoo!で検索するのと同じように尋ねたいことを打ち込むだけです。

Q ChatGPT以外に別のツールを使いますか？

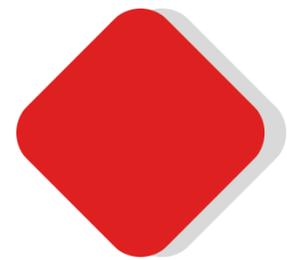
A はい。研修内ではPerplexityというAIツールも使いますので、こちらもアカウント開設をして、一度使ってみてください。

Q 無料と有料がありますが、どちらが良いですか？

A 無料でも受講するのに不都合はありません。使えるようになったら有料プランにしてどんどん使ってみてください。有料プランにしても無料プランに戻せます。

Q 経費として認められますか？

A はい、受講料は全額経費として認められます。



お問合せ

本日よりご紹介した内容や、当社のサービスについての疑問点など、お気軽にお問合せください。

住所	〒862-0955 熊本県熊本市中央区神水本町20-3 第二林ビル3F
メール	hayami@tanebi.fun
担当	早見
受付時間	9:30～17:00